

そう だい やくそく かみ えいえん けいやく
総題 「約束 神の永遠の契約」

だいはち か けいやく りっぽう
第8課 契約の律法

ふじたまさたか
藤田昌孝

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

こんしゅう かみさま あた けいやく りっぽう かんけい まな
今週は、神様から与えられた契約と律法の関係について学びます。

たましい い かえ しゅ みな ただ みち みちび しへんにじゅうさん さん
「魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。」(詩編 2 3 : 3)

かみさま わたし たましい い かえ ただ みち みちび かみさま わたし あた やくそく
神様は私たちの魂を生き返らせ、正しい道に導かれます。これは神様から私たちへ与えられた約束で
す。

かみさま わたし さいしよ ひと じょうたい かいふく じぶん すす ただ
神様は私たちを最初の人アダムとエバの状態に回復して下さいます。アダムとエバは自分から進んで正
しい道を歩むことができました。心に律法が刻まれていたからです。律法は彼らの喜びでした。私たちもやが
て、心に律法が書き記され、喜んで、神様と人を愛することができます。これが神様から与えられた救いの
やくそく けいやく
約束つまり契約でした。

に にちようび えら しんなな なな
2. 日曜日：イスラエルの選び(申7:7)

「あなたたちは、わたしにとって／祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエルの人々に語るべき言葉で
ある。」(出エジプト 1 9 : 6)

さいし ひとびと かみさま ことば つた はたら せい こくみん かみさま ごよう は こくみん かみさま
祭司とは人々に、神様のみ言葉を伝える働きをします。聖なる国民とは、神様の御用を果たす国民です。神様
かみさま やくそく ぜんせかい つた じん えら
は神様の約束を全世界に伝えるために、ユダヤ人を選びになりました。

ただし、それはユダヤ人が立派だったからではありません。当時のユダヤ人たちは、エジプトの奴隷でした。政治的
ぐんじてき よわ たみ なんだい どうれいせいかつ おお じん かみさま みち わす
にも軍事的にも弱い民でした。何代にもわたるエジプトの奴隷生活のため、多くのユダヤ人は、神様の道を忘れ
てしまっていました。申命記7:7はそのことを語っています。

「主が心引かれてあなたたちを選びられたのは、あなたたちが他のどの民よりも数が多かったからではない。あなた
たちは他のどの民よりも貧弱であった。」(申命記7:7)

じん えら かみさま あい めぐ
ユダヤ人たちが選ばれたのは、まさに神様の愛と恵みによるものでした。

げんたい わたし かみさま えら たみ しめい あた お
現代の私たちセブンスデー・アドベンチストもまた、神様から選ばれた民です。使命が与えられています。終
じだい さま すく う い ひとびと つし やくわり あた かみさま
わりの時代に、イエス様の救いを受け入れるよう、人々に告知知らせる役割が与えられています。また、神様の
りっぽう たいせつ ひとびと つた まか
律法を大切にするよう人々に伝えることが任せられています。

そのため、^{わたし}私たちは^{きょうかい}教会を支え、^{ささ}伝道にかかわります。^{でんどう}人々のために^{ひとびと}祈ります。^{いの}安息日に^{あんそくにち}創り主をお礼拝^{つくぬし}します。^{れいはい}安息日を守る^{あんそくにち}私たちの^{わたし}姿は、^{すがた}世の人々に、^よ創り主なる^{ひとびと}神様と^{つくぬし}神様の^{かみさま}律法を^{かみさま}告知らせることになり^{りっぼう}ます。

3. 月曜日：結び合わせるもの

「主は^{しゅ}契約を^{けいやく}告げ示し、^つあなたが^{しめ}行^{おこな}うべきことを^{めい}命じられた。それが^{じっかい}十戒である。主はそれを^{しゅ}二枚の^{にまい}石の^{いし}板^{いた}に^か書き^{しる}記された。」(申命記4：13)

^{たし}確かに^{かみさま}神様は^{わたし}私^あたちを^{あい}ありの^{すく}ままで^{かみさま}愛し、^{わたし}救^{かみさま}ってくださいます。しかし、^{わたし}神様は^{わたし}私^あたちを^あそのままにはして^{おきません}。私^{わたし}たちを^{かいふく}回復させ、^{いや}癒^{つみ}して^じくださ^じら^{こちゆうしん}うと^{しず}します。罪と^{わたし}自己^あ中心に^あ沈^あんだ^あ私^あたちを^あ引^あつ^あ張^あり^ああげて、^あ真^あの^あ幸^あせに^あ導^あかれ^あます。最初^あの人^あ(^あアダムと^あエノ)の^あ状^あ態に^あ回^あ復^あさせよう^あと^あし^あま^あす。その^あ回^あ復^あされた^あ姿^あが^あ十^あ戒^あに^あ表^あされて^あいます。

そのような意味で、私^あたちに^あ与^あえられた^あ救^あいの^あ約^あ束は、^あ律^あ法^あの^あ回^あ復^あでも^あある^あのです。

4. 火曜日：契約の中の律法 (申10：12、13)

「イスラエルよ、今、^ああなた^あの^あ神^あ、^あ主^あが^ああなた^あに^あ求^あめて^あお^あられ^ある^あこと^あは^あ何^あか。^あただ、^ああなた^あの^あ神^あ、^あ主^あを^あ畏^あれて^あその^あす^あべ^あて^あの^あ道^あに^あ従^あって^あ歩^あみ、^あ主^あを^あ愛^あし、^あ心^あを^あ尽^あくし、^あ魂^あを^あ尽^あくして^ああなた^あの^あ神^あ、^あ主^あに^あ仕^あえ、^あわた^あしが^あ今^あ日^ああ^あなた^あに^あ命^あじ^ある^あ主^あの^あ戒^あめと^あ掟^あを^あ守^あって、^ああなた^あが^あ幸^あい^あを^あ得^ある^あこと^あで^あは^あない^あか。」(申命記10：12、13)

^あ神^あ様^あの^あ戒^あめは、^あ人^あ間^あの^あ最^あも^あ人^あ間^あら^あしい^あ生^あき^あ方^あを^あ表^あして^あいます。この^あ戒^あめに^あ近^あづ^あけ^あば^あ近^あづ^あく^あほ^あど^あ人^あは^あ幸^あせ^あに^あなり^あます。

^あ神^あ様^あの^あ戒^あめは、^あ私^あたち^あの^あ生^あ活^あす^あべ^あて^あを^あ整^あえて^あくれ^あます。神^あ様^あの^あお^あ心^あに^あか^あな^あつ^あた^あ行^あ動^あが^あ繰^あり^あ返^あさ^あれる^あと、^あ繰^あり^あ返^あさ^あれた^あ行^あ動^あは、^あや^あが^あて、^あ私^あたち^あの^あ習^あ慣^あに^あなり^あます。良^あい^あ習^あ慣^あは、^あ私^あたち^あの^あ人^あ柄^あをつ^あくり^あます。人^あ柄^あは、^あ周^あり^あの^あ人^あ々^あに^あ良^あい^あ影^あ響^あを^あ及^あぼ^あし^あます。私^あたち^あが^あ良^あい^あ習^あ慣^あを^あ身^あに^あ着^あけ、^あ良^あい^あ人^あ柄^あをつ^あくり、^あ光^あを^あ輝^あか^あす^あこと^あを^あ神^あ様^あは^あ望^あま^あれて^あいます。

そのため、^あ現^あ代^あの^あ預^あ言^あ者^あエ^あレ^あン^あ・^あホ^あワ^あイ^あト^あも^あまた、^あ私^あたち^あの^あ生^あ活^あ全^あ体^あに^あわた^あって^あメ^あッ^あセ^あー^あジ^あを^あお^あ話^あり^あに^あなる^あの^あです。

5. 水曜日：神の律法の不変性

^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あは、^あいつ^あか^あら^ああ^あつ^あた^あで^あし^あょう^あか? ^あは^あじ^あめ^あか^あら^ああ^あり^あま^あした。^あ神^あ様^あと^あ共^あに^ああ^あり^あま^あした。^あな^あぜ^あな^あら、^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あは、^あ神^あ様^あの^あご^あ品^あ性^あの^あ表^あれ^あた^あか^あら^あです。

^あ最^あ初^あの^あエ^あデ^あン^あの^あ園^あに^あは、^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あが^あ全^あ全^あに^あ表^あさ^あれて^あい^あま^あした。^あ人^あ間^あの^あ人^あ格^あに^あも、^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あが^あ全^あ全^あに^あ表^あさ^あれて^あい^あま^あした。で^あす^あか^あら、^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あを^あ文^あ字^あに^あす^ある^あ必^あ要^あが^ああ^あり^あま^あせ^あん^あで^あした。律^あ法^あは^あ人^あ間^あの^あ心^あに^あ書^あき^あ記^あさ^あれて^あい^あた^あか^あら^あです。

^あと^あこ^あろ^あが、^あ罪^あを^あ犯^あして^あか^あら^あは、^あ人^あ間^あは^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あを^あ表^あす^あこと^あが^あ難^あしく^あな^あり^あま^あした。^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あを^あ教^あえて^あも^あら^あわ^あな^あけ^あれ^あば^あな^あら^あな^あく^あな^あり^あま^あした。その^あた^あめ^あに^あ文^あ字^あに^あ表^あさ^あれた^あ神^あ様^あの^あ律^あ法^あの^あ一^あつ^あが^あ十^あ戒^あです。

しかしやがて、イエス様のご再臨の後、私たちの心には、もう一度神様の律法が完全に表されます。世界にはもう一度、神様の律法が完全に回復されるのです。

そのようなわけで、神様の律法は、永遠の昔から、永遠の未来に至るまで、決して変わることはありません。変わる事のない神様のご性質として、神様と共に存在し続けるのです。

6. 木曜日：もし……

「わたしはあなたの子孫を天の星のように増やし、これらの土地をすべてあなたの子孫に与える。地上の諸国民はすべて、あなたの子孫によって祝福を得る。アブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの戒めや命令、掟や教えを守ったからである。」(創世記 26 : 4、5)

神様に用いられる人は、神様の戒めを守ろうとする人です。神様の律法を大切にする人です。なぜなら、神様の救いの目的は、私たちの内に神様の律法を完全に回復することだからです。そのために、神様は私たちの罪を赦し、救ってくださいました。

私たちは、恵みによって救われました。イエス様の身代わりの償いによって、私たちは義とされ、今や神様の家族の一員です。そこで、私たちは救われた者として、神様の戒めを守ってゆくのです。失敗したり、罪を犯したりすることがあるかもしれませんが、しかしやがてイエス様のご再臨の後には、完全に戒めを守ることができるようになります。

反対に、もし、私たちが「救われたのだから、罪を犯そう」「赦されたのだから律法はいらない」と言うならば、それは神様の救いではありません。サタンの惑わしです。

7. 金曜日：さらなる研究

「イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。』(マタイ 22 : 37、38)

私たちはすでに救われた者として、神様を愛し、神様の律法を愛し、喜んで主に従おうではありませんか。